

Jクレジット制度認証委員会御中

## 実績確認概要書

平成 28 年 10 月 4 日

審査機関名 株式会社日本スマートエネルギー認証機構

### 1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	卸売市場における都市ガス焚き吸収冷温水機の更新による排出削減事業
承認番号	JCDM-PJ1197
排出削減事業者名	大田市場事務棟空調設備共同利用団体
排出削減共同実施事業者名	カーボンバンク株式会社 (その他関連事業者：株式会社ハリマビシステム)
事業実施場所	東京都大田区東海 3-2-1 大田市場事務棟
事業の概要	都市ガス焚き吸収冷温水機を高効率のものに更新することにより省エネルギーおよびCO <sub>2</sub> 排出量削減を図る。
排出削減量の計画	2008 年度 4tCO <sub>2</sub> /年 2009 年度 76tCO <sub>2</sub> /年 2010 年度 76tCO <sub>2</sub> /年 2011 年度 76tCO <sub>2</sub> /年 2012 年度 76tCO <sub>2</sub> /年 (事業実施期間合計 308tCO <sub>2</sub> /年)
国内クレジット・Jクレジット認証期間	開始日 2009 年 2 月 19 日 終了予定日 2017 年 2 月 18 日
排出削減方法論	方法論番号 004 空調設備の更新

### 2. 本実績確認の対象期間

2013 年 4 月 1 日～2016 年 3 月 31 日 (第 3 回目実績報告)

### 3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	183 tCO <sub>2</sub> (2013年4月1日～2016年3月31日)
-------	---

### 4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	<ol style="list-style-type: none"><li>1) 開始日の確認 (初回実績確認の場合) 第3回目の実績確認であるため該当しない。</li><li>2) 対象期間中の設備稼働確認 対象期間中の設備稼働は東京ガス株式会社の請求書により確認している。</li></ol>
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	<p>排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていることを確認した。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1) モニタリング方法の確認 承認排出削減事業計画に従って、専用のガス流量計の検針によるモニタリングが実施され、東京ガス株式会社のガス請求書を保管して集計が適切に行われていることを確認した。</li><li>2) 活動量の正確性 都市ガス焚き吸収冷温水機の燃料が専用のガス流量計の検針に基づくガス請求書により、承認排出削減事業計画どおりエネルギー使用量が報告期間中に渡り適切に把握されており、正確に集計されていることを確認した。</li><li>3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等が方法論及び承認排出削減事業計画どおりであることを確認している。</li><li>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果を集計結果と突合、方法論の定</li></ol>

	<p>めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認した。</p> <p>5) その他 その他、排出削減量の算定において重大な変更はなされていないことを確認した。</p>
算定期間が 2021 年 3 月 31 日を超えないこと	<p>本実績確認の対象期間は、2013 年 4 月 1 日～2016 年 3 月 31 日までであり、排出削減量を算定した期間が 2021 年 3 月 31 日を超えないことを確認した。</p>

## 5. 特記事項

確認した排出削減量（クレジット量）に相当する省エネ量について、原油換算 71.1kl であることを確認した。

以上